



協体さあふじ

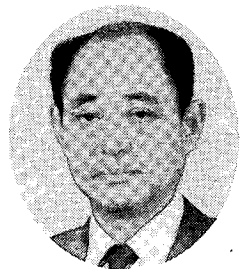
「藤沢市体育協会広報」第19号

発行日 平成3年11月25日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒262 藤沢市遠藤3172 秋葉台文化体育館内

『藤沢商業とスポーツ』

— 新体育館を基盤に活性化を —

藤沢商業高等学校校長 小 椋 茂



お陰をもちまして本校は今年、創立六十周年を迎えました。記念事業として改築しました講堂兼体育館も八月に落成、十月五日に六十周年と落成を祝って記念式典を催し、二十七日にはこけら落としに、男子バレーボール・日本リーグの富士フィルム、日本電気の両チームを招待して模範試合を開催致しました。

講堂兼体育館は鉄筋四階建て、総面積七五〇〇㎡。三階アリーナはバスケットコート三面の広さで、一・二階に体操・バドミントン・卓球・柔道・格技（剣道・少林寺拳法）の各練習場を設備、筋肉トレーニング場のほか、四階には一周一六〇mの走路も設けています。文化面でも四百名収容の多目的ホールを内蔵、食堂・厨房もつらえ、かつ地域社会への開放を考慮して、西側にもエントランスを構え、男女更衣室、シャワールームも準備しています。

この建物を一つの基盤として、体育・部活動の活性化を図り、視聴覚

教育などの充実に努めたいと思っておりますが、藤沢市を中心とする地域社会と交流を深め、施設をご利用いただくことよって、日頃のご恩恵に万分の一なりとお応えしたいと考えています。毎年催される藤商祭（文化祭）には、お年寄りのゲートボールのチームや、ママさんバレーのチームをお招きし交歓試合を催しています。今後はこの種の催しを増やしていきたいらと夢見ています。

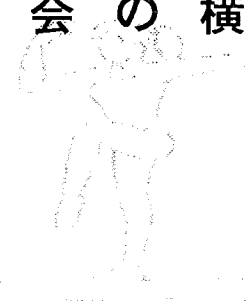
本校のスポーツは十五の運動部の活動を通じて行われています。中でもバレー部は昭和六年開校と同時に創部され、同十年には第一回生を中心とするチームが全日本中等学校選手権大会と明治神宮体育大会で全国を制覇し、藤沢町に初めて優勝旗をもたらして以来の伝統を有しています。戦後は三十六年の国体で優勝、六人制の時代に入っては春の全国高校選抜優勝大会に五十三・五十四・五十五・五十七・六十一年と五制覇を達成し、五十三・六十一年には高

校総体、五十四年には国体にも優勝、それぞれ二冠を獲得しました。全国優勝は通算十一回を数えますが、その間に多くの優れた選手を出しています。最近二十年から拾いますと、渡辺輝明（四十五年卒、現サントリー監督）・御嶽和也（四十五年卒、富士フィルム、ロス・オリンピック代表選手）・三原正一（五十一年卒、三協工業、ユニバシアード代表選手）・古川靖志（五十五年卒、NKK、ロス・オリンピック代表選手）・長谷部三男（五十六年卒、NEC、日本代表選手）・金子敏和（五十八年卒、NEC、日本代表選手）など多士済々です。

陸上部は高校駅伝で五十二年から七年連続、六十二年から昨年まで六年連続して県優勝、六十一年には関東大会優勝の余勢を駆って全国大会で第三位、翌六十二年は全国大会第八位と健闘しました。中・長距離種目でも総体に最近六年連続出場しています。このほか野球・卓球・バスケットなども活躍するクラブです。藤沢市体育協会には常日頃大変お世話になっております。昭和六十一年から賛助会員として末席を汚していますが、その名に恥じないよう切實いたしますので、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻下さいますことを心からお願ひ申し上げます。

顔横の協会

協会体操



ここ藤沢の地は、戦後間もない頃
 県湘南高校（男子）県藤沢高校（女
 子）が県内体操の再興の場として活
 動の中心をなし、四十年代からは、
 相模工大（現湘南工科大学）付属高
 校が県内トップの座はもとより全国
 的にもインターハイ優勝二回、国体
 優勝三回という輝かしい伝統と歴史
 を築いて今日に至っています。近年
 は、日大藤沢、県湘南台高校も県内
 トップレベルの常連校です。つまり
 県内の上位校がこの藤沢に集中して
 います。

このような環境の中で、藤沢市体
 操協会が昭和六十一年四月、会長に
 天野節男氏を迎えて発足しました。
 発足のきっかけは、秋葉台文化体育
 館の開設記念行事として昭和六十年

四月TBS杯国際招待体操競技会な
 らびに十一月、85国際選抜体操競技
 会がたて続けに開催された折、市体
 育協会からのご指導があったことで
 す。更には、県体操協会が新たな拠
 点として認め、地元民間有志のご協
 力が得られたことで発足にはずみ
 がつきました。

本協会の活動は、地域に根ざした
 活動を目標に、例えば秋葉台文化体
 育館で毎年のように開催されて来た
 国際競技会やNHK杯などの全国大
 会や県児童演技大会など県レベルの
 イベントの主管の任務にあたること、



第6回児童演技発表会 本町体操教室。

他方、地元を中心とした市民大会
 （毎年八月中旬）や体操教室などを
 充実させて体操の普及発展に努めて
 いることなどが挙げられます。

今後の課題の一つは、中学生レベ
 ルの競技力の低下と競技人口の激減
 をいかに解消していくかにあります
 が、現在のところ決定的な糸口は見
 つかっていません。

平成10年神奈川県国体に向けて、小
 学生選手の育成と先の中学生選手の
 問題をいかに解決していくか、役員
 一同全力を傾注したいと考えていま
 す。

顔横の協会種目



協会ハンドボール

子12チーム・高校男女21チーム・中
 学男女9チームで約800名を越えるハ
 ンドボール愛好家によって支えられ
 ております。

協会主催の行事としては、4月の
 春季大会・9月の秋季大会・12月の
 室内大会を秋葉台体育館・藤沢北高
 を会場として実施しており、中高生
 の熱戦やクラブチームの妙技が展開
 されております。また社会人の国内
 大会である日本ハンドボールリーグ
 の藤沢大会を4回にわたって実施し
 ハンドボールの魅力を紹介したり、
 ちびっ子ハンドボールの練習会を企
 画したりするなど、常にハンドボー
 ルの普及・強化を兼ねた活動をして
 おります。

7名で行うハンドボールは縦40m
 横20mのコートで、1名のゴールキー
 パーと6名のフィールドプレーヤー
 で対戦するゲームです。ボールの大
 きさは大人の手で努力して握れるく
 らいであり重さもかなりあります。
 ボールはもちろん手で操作しますが
 GKは足を使うことができます。

日頃使い慣れた手で行うわけなの
 で誰もがたやすく行える競技ですが
 同時に高度な技術も必要です。更に
 チーム全体の連携プレーも重要で、
 奥行き深いチームボールゲームで
 あるといえます。

オリンピックやアジア大会でも、

藤沢市ハンドボール協会は、昭和
 59年10月に設立され、現在設立七周
 年になります。平成三年度は一般男



ハンドボールフェスティバル中学生大会

各国選手の高度なプレーを見る事ができます。本来は屋外で始まったゲームですが、室内で対戦するのが一般的で走力・跳躍力・腕力を十分に発揮することのできるスポーツです。

毎年高校チームが県大会でベスト6位以内に入賞し、クラブチームも市内だけでなく近郊の地区からも大会に参加し、高校OBチームも交えて、確実にその姿を増しております。今後とも積極的に活動する所存でありますので、ハンドボール競技へのご理解をよろしくお願いいたします。

— 第42回 県総体 —

残念ながら

第七位



健闘

しました



冬季大会・夏季大会に続き今秋季大会によって第42回大会が終了しました。

今年、冬季大会（スキー）夏季大会（水泳・ソフトボール）が良い成績をあげ、目標の6位入賞になるかと期待しましたが、昨年同様の7位に終わりました。

昨年と比べて特に活躍が目立っていたのは、夏季大会で水泳・ソフトボール、秋季大会では、バレーボール男女・卓球・柔道・サッカー・バドミントンと多数の種目で健闘され、今後一層の活躍を期待します。

5位から7位までの得点差は少なく、選手、役員一丸となれば、必ず入賞できるものと確信しております。例年のことでございますが、各種目協会の選手、役員の皆様方には大変なご苦労をいただき、教育委員会、体育協会共々感謝の意を表したいと思えます。

来年も共にがんばりましょう。

『優勝』へ女子バレーボールメンバー

監督鈴木成明以下 波川裕子・斉藤陽子・渡辺紀子・小林由美子・土肥昭子・鈴木初江・山城ゆみ子・松沢はる子・加藤美江子・加藤有加利・大藤陽子・小堺幸子・桐生昭代・西脇順子。

『第二位』へ男子バレーボールメンバー
監督荒井勝男以下 福島謙・浜田秀文・石川昇・有田三男・鈴木勝也・田中浩・荒井勝男・木代裕・中丸義正・有田昭治・岡見精亮・平嶺勉・牧野臣弘

『第二位』へ卓球メンバー
監督白井文夫以下 西倉遊星・薩美敏子・宇田川智生・田勉哲也・藤沢幸子・板垣時男・秦野寛

『第二位』へサッカーメンバー
監督西島眞吾以下 神原真人・吉原正紀・平井護・松森裕二・飯田健一・西島眞吾・藤塚久雄・和田朗・島津学・寺内章一郎・田中裕行・大内埋・林俊之・大串寛・桜井保・磯基夫・安斉久雄・鈴木敏幸

陸上競技

青年の部ではがんばりました。青年の部

★安藤美香 200m ★西川徹 巾とび 全国大会へ二名進出!!

総合成績

順位	都市名	得点
1	川崎市	337.0
2	横浜市	313.5
3	相模原市	304.3
4	平塚市	301.5
5	横須賀市	277.5
6	大和市	277.0
7	藤沢市	274.5
8	秦野市	270.5
9	小田原市	270.0
10	厚木市	268.0

種目別競技成績

種目	成績	得点
陸上競技	第24位	3.0
バレーボール	男子 第2位	25.0
	女子 優勝	26.0
卓球	第2位	25.0
バドミントン	1回戦敗退	7.5
バドミントン	第4位	23.0
剣道	第9位	14.5
柔道	第5位	22.0

種目	成績	得点
弓道	1回戦敗退	9.0
サッカー	ブローク第2位	23.5
軟式野球	1回戦敗退	5.5
クレム撃	第7位	20.0
スキー	第9位	17.5
ソフトボール	第5位	20.5
軟式庭球	第9位	14.5
水泳	第9位	18.0

第46回市民総合体育大会

栄冠は高谷地区に！

今年の市民総体は雨にたたられ、野球競技は日程を消化できず、ベスト4を決定するにとどまりました。

そのためか、ポイント争いも微妙な様相を呈し、各種目・各競技に息づまる熱戦がくりひろげられ、9月1日の本大会では大きな盛り上がりが見られました。

最終的に地区対抗7種目の総合の部を制したのは、陸上競技で圧倒的な強さを見せた高谷地区でした。

高谷地区は昨年優勝の明治地区と同様、前年12位からの大躍進で、各地区の実力がここ数年、伯仲していることがうかがえます。実際、今年を含めた過去9年間は、すべて違う地区が優勝しており、それ以前によく見られた連続優勝、隔年優勝などが減少しています。これからも、地区対抗は白熱し、好試合が期待されるでしょう。

その他、オープン競技11種目も実施され、市内愛好者がその技術を競いました。

今年度大会は、あと2種目、オープン競技ハンドボールとスキーが予定されています。

《地区対抗競技成績》

◎総合の部

優勝

準優勝

第三位

◎競技別優勝

陸上競技

バレーボール

卓球

軟式庭球

ソフトボール

バドミントン

高谷地区

亀井野地区

六会地区

高谷地区

大鍋地区↓男子

長後地区↓女子

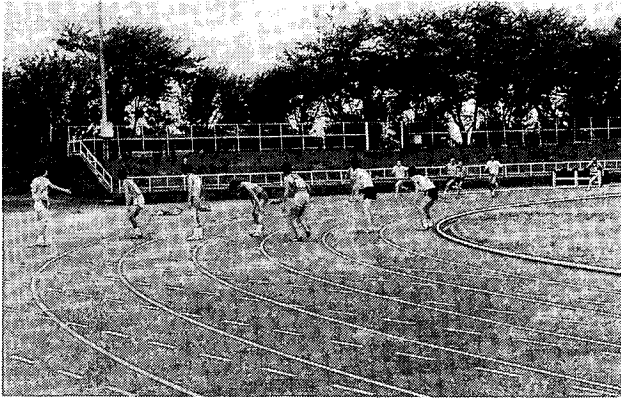
長後地区↓総合

高谷地区

亀井野地区

中里地区

鵜沼地区



秋の叙勲に

中山二郎会長

賜杯(台付木杯)を受賞

この度、藤沢市体育協会々々長中山二郎が、昭和20年の春、軍医(中尉)の時に勲五等(瑞宝賞)を受賞されて以来、二度目の栄えある受賞となりました。

十一月十二日に木杯をいただき、同日皇居に参内し、拜謁を賜ることになりました。協会員一同、心よりお慶び申し上げます。

木杯

以前に相当相応の勲章をもらった人でその後、更に功績があったと認められた人に贈られる賞。

神奈川県では、稀有のことで大変栄誉ある賞です。

《受賞者の言葉》

「スポーツ功労者として賜杯をいただくとは思わなかった。全国的に

みても、めったにない光栄だから、よろこんでいます。趣味は、スポーツに親しみ、寮歌と旅が大好きで、へたな俳句を作っています。」と80



才とは思えない若々しきで、よろこびを語っておられました。

ラグビーファンのみなさま

おまたせ

しました



日本最強のラグビーチームをひきつれてワールドカップに挑戦！

悲願の一勝を果した

日本代表チーム

『宿沢 広朗』監督が

講演いたします。

第七回スポーツ人の集い

平成四年一月十八日(土)

藤沢市民会館小ホール

第一部 式典

第二部 講演会

講師

ワールドカップ日本代表

チーム監督

『宿沢広朗氏』

第三部 レセプション

藤沢市のスポーツ関係者が一堂に

介し、交流を深めることを目的として

しております。

市民の多数のご来場をいただき、

盛会でありますよう、よろしくお願

い申し上げます。